

AXIS Q1656-BE Box Camera

4 MPの屋外用ベアボーンモデル

AXIS Q1656-BEは、最大60フレーム/秒での4メガピクセルの解像度、1/1.8" センサー、Lightfinder 2.0により、低光量環境でも優れたビデオ品質を実現します。最新のAxisシステムオンチップ (SoC) により、エッジでの深層学習に基づく高度な機能とアプリケーションに対応します。また、AXIS Object Analyticsにより、非常に微妙な物体分類が可能です。内蔵のサイバーセキュリティ機能により、不正アクセスを防ぎ、システムを保護します。この屋外対応のベアボーンユニットには、レンズと取り付けアクセサリが付属していませんが、さまざまなレンズ、取り付けオプション、赤外線照明キットを使用して、ニーズに合わせて独自のカメラを作成できます。

- > 1/1.8" センサーによる卓越した映像
- > 深層学習を使用した分析機能に対応
- > サイバーセキュリティ機能を内蔵
- > i-CSレンズ対応
- > 特定のニーズに合わせてカスタマイズ可能



AXIS Q1656-BE Box Camera

カメラ	
イメージセンサー	1/1.8"プログレッシブスキャンRGB CMOS
デナイト機能	自動切換え赤外線カットフィルター
最低照度	4メガピクセル、25/30 フレーム/秒 (Forensic WDRとLightfinder 2.0有効時) カラー: 0.05ルクス (50 IRE, F1.5) 白黒: 0.01ルクス (50 IRE, F1.5) 4メガピクセル、50/60 フレーム/秒 (Lightfinder 2.0有効時) カラー: 0.1ルクス (50 IRE, F1.5) 白黒: 0.02ルクス (50 IRE, F1.5) レンズ別売
シャッター速度	1/47500秒〜1秒
システムオンチップ (SoC)	
モデル	ARTPEC-8
メモリー	RAM 2,048 MB、フラッシュ8,194 MB
コンピューティング機能	深層学習処理ユニット (DLPU)
ビデオ	
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline Profile、Main Profile、High Profile H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル Motion JPEG
解像度	16:9 2688x1512 Quad HD〜160x90 4:3 2016x1512〜160x120
フレームレート	WDRオフ: すべての解像度で最大60/50フレーム/秒 (60/50 Hz) WDR: すべての解像度で最大30/25 フレーム/秒 (60/50 Hz)
ビデオストリーミング	個別に設定可能なマルチストリーム (H.264/H.265/Motion JPEG) Axis Zipstreamテクノロジー (H.264、H.265) フレームレートおよび帯域幅の制御 VBR/ABR/MBR H.264/H.265 低遅延モード ビデオストリーミングインジケーター
マルチビューストリーミング	最大8つのビューエリアを個別に設定可能
画像設定	彩度、コントラスト、輝度、Forensic WDR: 最大120 dB (撮影シーンによる)、ホワイトバランス、デナイトモード閾値、トーンマッピング、露出モード、露出エリア、曇り除去、樽型収差補正、電子動体ブレ補正、圧縮、回転: 0°、90°、180°、270° (コリドールフォーマット、ミラーリング、ダイナミックオーバーレイ (テキスト/画像)、ポリゴンプライバシーマスクを含む)
パン/チルト/ズーム	デジタルPTZ、プリセットポジション アップロード可能なPTZドライバー (Pelco Dがプリインストール済み)
音声	
音声ストリーミング	双方向、全二重 ノイズリダクション
音声エンコーディング	24bit LPCM、AAC-LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz ビットレート設定可
音声入力/出力	外部マイクロフォン入力/ライン入力、ライン出力、リングパワー、デジタル音声入力、自動ゲインコントロール
ネットワーク	
セキュリティ	IPアドレスフィルタリング、HTTPS ^a 暗号化、IEEE 802.1x (EAP-TLS) ^a ネットワークアクセスコントロール、ユーザーアクセスログ、証明書の集中管理
ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、HTTP、HTTPS ^a 、HTTP/2、TLS ^a 、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、Bonjour、UPnP [*] 、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS、DynDNS、NTP、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)

システムインテグレーション	
アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX [®] 、AXIS Camera Application Platformなど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.comを参照) ワンクリッククラウド接続 ONVIF [®] Profile G、ONVIF [®] Profile M、ONVIF [®] Profile S、ONVIF [®] Profile T (仕様についてはonvif.orgを参照)
画面上コントロール	電子動体ブレ補正 デナイト切り替え 曇り除去 ワイドダイナミックレンジ ビデオストリーミングインジケーター ヒーター
イベント条件	分析機能、外部入力、状態監視外部入力、エッジストレージイベント、APIによる仮想入力 音声: 音声検知 装置のステータス: 動作温度範囲を上回った時、動作温度範囲外、動作温度範囲を下回った時、IPアドレスの削除、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、衝撃検知、ストレージの障害、システムの準備完了、動作温度範囲内、ケーシング開放 ビデオ: いたずら、平均ビットレート低下、デナイトモード エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断 I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力 PTZ: PTZ動作不良、PTZ動作、PTZプリセットポジションに到達、PTZ準備完了 スケジュール、繰り返し: スケジュールされたイベント ビデオ: ライブストリームオープン
イベントアクション	オーバーレイテキスト、外部出力の駆動、音声クリップの再生、プリセットポジションへのズーム I/O: I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間にI/Oを切り替え MQTT: バブリッシュ 通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール 録画またはアップロード目的でのプリ/ポストアラームビデオまたは画像のパッファリング PTZ: PTZプリセット、ガードツアーの開始/停止 ビデオ録画: SDカード、ネットワーク共有 SNMPトラップ: 送信、ルールがアクティブなときに送信 画像またはビデオクリップのアップロード: FTP、SFTP、HTTP、HTTPS、ネットワーク共有、電子メール
設置支援機能内蔵	リモートバックフォーカス、レベルアシスタント、ピクセルカウンタ i-CSレンズ: リモートズーム/フォーカス
分析機能	
AXIS Object Analytics	物体クラス: 人、車両 (タイプ: 車、バス、トラック、バイク) トリガー条件: ライン横断、エリア内の物体 最大シナリオ数は10個まで 色分けされた境界ボックスで視覚化されたメタデータ 対象範囲と除外範囲 実行の設定 ONVIF動体アラームイベント
アプリケーション	含まれるもの AXIS Object Analytics AXIS Video Motion Detection 対応 AXIS Camera Application Platformに対応する、サードパーティ製アプリケーションをインストール可能 (axis.com/acapを参照)
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、パスワード保護、AES-XTS-Plain64 256bit SDカード暗号化 ハードウェア: セキュアブート、Axis Edge VaultによるAxis デバイスIDの保管、署名付きビデオ、セキュアキーストア (暗号化操作と鍵のCC EAL4+、FIPS 140-2レベル2認定ハードウェア保護)
ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS) ^a 、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS ^a 、TLS v1.2/v1.3 ^a 、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、IPアドレスフィルタリング

ドキュメント *AXIS OS強化ガイド*
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
 AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
 ドキュメントをダウンロードするには、
axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。
 Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、
axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

一般	
ケーシング	IP66、IP67、NEMA 4X規格準拠、IK10耐衝撃性、除湿膜付きのアルミニウム製筐体 IK10耐衝撃性のプラスチック製フロントウィンドウ 黒のアンチグレアコーティングを施したウェザーシールドカラー: 白NCS S 1002-B 再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、 axis.com/warranty-implication-when-repainting にアクセスしてください。
サステナビリティ	
電力	Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Type 2 Class 4 通常11.8 W、最大12.95 W 10~28 V DC、通常11.2 W、最大25.2 W 電源の冗長化
コネクタ	RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T PoE 2x状態監視あり/2x監視なし設定可能入力/デジタル出力用のターミナルブロック (12 V DC出力、最大負荷50 mA) RS485/RS422用ターミナルブロック (2極2個、全二重) DC電源入力用ターミナルブロック、3.5 mmマイク/ライン入力、3.5 mmライン出力 i-CSコネクタ (P-IrisおよびDCアイリスと互換)
ストレージ	microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応 SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit) NAS (network-attached storage) への録画 推奨されるSDカードとNASについては、 axis.com を参照
動作条件	-40° C~60° C 極寒温度管理機能 (arctic temperature control): -40° Cで起動可能 NEMA TS 2 (2.2.7) に基づく最高温度: 74° C 湿度10~100% RH (結露可)
保管条件	-40° C~65° C 湿度5~95% RH (結露不可)

認証規格	EMC CISPR 24、CISPR 35、EN 55032 Class A、EN 55035、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2、FCC Part 15 Subpart B Class A、ICES-3(A)/NMB-3(A)、EN 50121-4、IEC 62236-4、KS C 9832 Class A、KS C 9815、KS C 9835、KS C 9547、RCM AS/NZS CISPR 32 Class A、VCCI Class A 安全性 IEC/EN/UL 62368-1、IEC/EN/UL 60950-22、IEC 62471、IS 13252 環境 IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66/IP67、IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)、ISO 21207 (Method B) ネットワーク NIST SP500-267
外形寸法	404×159×182 mm
重量	3.3 kg
付属アクセサリ	サンシールド、コネクタキット、Resistorx® T20ツール、インストールガイド、Windows®用デコーダ (1ユーザーライセンス)
オプションアクセサリ	AXIS T8415 Wireless Installation Tool AXIS Surveillance Card その他のアクセサリについては、 axis.com を参照
オプションレンズ	Lens CS 4-10 mm F0.9 P-Iris Lens i-CS 9-50 mm F1.5 8 MP Lens CS 12-50 mm F1.4 P-Iris 8 MP Lens i-CS 1/1.8" 3.9-10 mm F1.5
ビデオ管理ソフトウェア	AXIS Camera Station、Axisアプリケーション開発パートナー製のビデオ管理ソフトウェア。 axis.com/vms を参照
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、繁体字中国語
保証	5年保証については、 axis.com/warranty を参照

- a. 本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。